

新任会長 あいさつ

皆様の温かい御推挙により、茨城県テニス協会長を務めることになりました黒澤でございます。

加盟クラブ・会員の皆様方は勿論、役職員の皆様の御助力を頂かないことには、協会の円滑な運営・経営はできません。どうぞ、皆さんからの、御協力・御支援の程よろしくお願い申し上げます。

さて、本協会も昭和35年9月創立以来、今年で46年を迎えることとなりますが、この間、先輩諸氏におかれましては、様々な問題や課題を克服され、この協会の立派な歴史を築かれたわけでございます。ここに深く敬意を表する次第でございます。

これからは、私たちがこの大任を担うわけでございますが、その重みをひしと感じているところでございます。

バブル崩壊の影響や若者のスポーツ離れ等により、当協会においても会員の退会が相次ぎ、各種の対応策を実施してまいりましたが、現在、当協会の直面している課題は、まだまだ山積しております。

まず、経営基盤の安定化をどう図るか、協会を支える役員・協力者づくりを推進するに有効な手段や方策はどのようなのか、加盟クラブ等の増加をどうするのかなどなどです。

当面の課題としては、主に7つあると考えます。

- 1つは、市町村の合併が進む中、92から44へと大きくなった市町村をいかに本協会が、組み入れていくのか、扱っていくのか、
- 2つ目は、老朽化と狭隘化の目立つ県や市町村のテニス施設を、行革の最中いかに整備して戴くのか
- 3つ目は、景気回復が顕著な今日、会員の減少傾向をどのように増加に転じていくか、テニス愛好家を当協会にどう加入させるのか、裏を返せば魅力的な協会をどのように作っていくのか、その方策・戦略はどう立てるのか、
- 4つ目は、自己本位に走りがちな世相の最中、協会役員やその後継者作りを、どのようにしていくのか、
- 5つ目は、賛助会員や寄付者等を募集するにはどうするのか、
- 6つ目は、来年、茨城県と筑西市で主管して開催される、全国的規模の「ねんりんピック」をどう協会として運営していくのか、
- 7つ目は、今年1月、日本テニス協会では、テニスに関わる全ての人を対象に、事務や大会運営・実施に当たり、順守しなければならない事項を「倫

理規程」として制定しましたが、この規定に則り、私どもも活動しなければなりません。

特に、会の運営経営に当たりましては、メンバーや相手方の人格尊重を第一とすることが肝要であり、一方的な意見の押し付けではなく、良く話し合いを持ち、協調連携して行くことが大切だと考えます。

しかし、頭で分かっている中々実行が難しい事柄であります。よって、この規程を折々に読むことが大切だと思います。

以上、課題は、枚挙に暇がありません。

これらを皆様とともに、じっくりと一つひとつ解決し、誰もが安心して参加できる協会の各種事業・行事づくりを行うとともに、愛される協会をともに作って、頂くようお願い申し上げる次第でございます。

微力な私ですが、誠心誠意努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。新任の御挨拶といたします。

(2 0 0 6 . 4 . 2 3 総会での黒澤 新会長あいさつ)